



秩父病院だより



二次救急当番について

院長 花輪峰夫



当院は平成23年10月より、二次救急輪番制の当番を従来の水曜日に加えて、金曜日を担当することになりました。これにより、月曜日は皆野病院、火・木曜日が秩父市立病院、水・金曜日が秩父病院ということになります。土・日曜日は従来通り、3病院でそれぞれ順番に担当します。スタッフが十分でない民間病院にとっては、かなり大変なことではありますが、二次救急輪番病院が減少し、ぎりぎりの救急医療体制の中、病院を新築移転し、当院にできる最大限のこととして、決断しました。8月より埼玉医科大学国際医療センターの救命救急科より、日本救急医学会救急科専門医の大谷医師が赴任し、看護スタッフ等も増員しました。これにより、地域の救急医療への貢献度は増したと自負しております。しかし、幾つかの問題も生じています。

まず、夜間当直が増えることにより、医師はじめスタッフの負担増に加え、その分、夜勤明けで出勤できないスタッフも増えることにより、さらに日勤のスタッフの負担も増えています。したがって、さらにスタッフの増員を図らなければなりません。

私は、救急医療は社会保障というより、安全保障であると考えています。ですから、地域の救急医療体制は一民間病院の問題ではなく、地域全体の問題であると考えています。当院ではすでに、多くの医師会の先生方にお手伝いいただいております。有難いことと感謝に堪えませんが、今後は市立病院や町立病院の先生方にも当院の救急医療をお手伝いいただきたいと考えています。地域の救急医療を総力で守るという考えの下、堂々と正面からお話ししたいと思います。

また、病院の機能面では、病床のより有効な活用が行われなければなりません。当院の病床は52床しかありませんが、救急当番日に対応して、空きベッドを確保しなければなりません。しかし、救急当番の増加に伴い、すぐに救急患者さんで満床になってしまいます。したがって、比較的軽症の患者さんや、経過の良好の方は、可能な限り外来で診察をお願いしています。また、入院中の患者さんについては、経過良好の場合は、早期の退院、あるいは転院をお願いすることが多くなっております。ご理解をいただきたいと存じます。今こそ、地域の総ての医療機関がそれぞれの役割を担い、緊密に連携し、官民の別なく、地域医療を守っていくという考えが必要です。

歯科と外科のタイアップがん治療(特に大腸がんに対して)

秩父病院外科ではすべての全身麻酔手術予定の患者さんに対して、2011年4月から歯科の協力により術前・術後の口腔ケアを実施しています。口腔ケアの方法およびメリットは、2011年秋号に掲載した通りです。最近、ケアによって手術前から口腔内細菌の増殖は抑えられ、手術後の肺炎などをはじめとした様々な合併症は軽減されると言われています。特に消化管の手術では術前、術後と合わせて数日間の絶食期間があり、この間の口腔内細菌の増殖が問題視されています。

全国的に大腸がんは徐々に増加傾向にあり、特に歯に何らかの問題のある高齢者が増えつつあります。術後の合併症の全国的な評価法として手術後の在院日数というものがあります。つまり術後、トラブルの少ない患者さんは早く退院でき、早く社会復帰できるというものです。

当院におきましてケア導入前の大腸がん患者さんとケア導入後の大腸がん患者さんとで術後の在院日数を算定したところ、導入前では 17 ± 3 日、導



▲外科・手術の様子

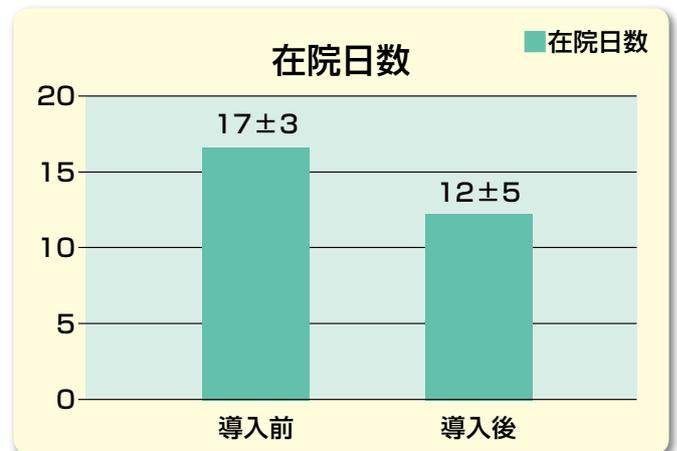
入後では 12 ± 5 日であり、統計学的にも有意に短縮しました。実際にケア導入後の患者さんでは重篤な合併症は1例もなく、食事再開後もスムーズにお食事を食べられて元気に退院されているのが現状です。

当院は秩父市内で唯一、歯科と外科がある病院です。がん患者さんのみならず、すべての全身麻酔を受けられる患者さんが安心して手術を受けられ、早期に社会復帰できるように努力しています。

秩父病院 外科 小澤修太郎



▲歯科・口腔ケアの様子



口腔ケア前



口腔ケア後

連携医院のご紹介

埼玉医科大学 国際医療センター 救命救急科



▼診療スタッフ(講師以上)

根本 学(院長補佐、診療科長、教授)
古田 島 太(副診療科長)
龍神 秀穂(講師)、高平 修二(講師)、鳥尾 哲矢(講師)

▼診療内容・専門分野

救命救急科は、救命救急センターのサブ・センターである救急・外傷センターに所属し、重症・重篤なショック・外傷、熱傷、急性中毒、急性呼吸不全、急性腎不全、重症感染症などに対して救命救急科スタッフによる診察・治療を実施しています。

心筋梗塞や脳卒中が専門チームによって診療されるのと同じように、外傷も外傷チームによる適切な初期診療とその後の継続治療展開が重要視されています。

埼玉医科大学国際医療センターは、日本救急医学会救急科専門医・指導医指定施設、日本外傷学会外傷専門医研修施設として認定されており、日本救急医学会公認の外傷初期診療コース(JATEC)のインストラクターおよびプロバイダー資格を有する日本救急医学会救急科専門医・指導医、日本外傷学会外傷専門医、整形外科学会専門医である救命救急科スタッフ医師を中心に、必要時には一般外科医、脳神経外科医、形成外科医などを含めた外傷チームを構成し、適切かつ迅速な初期診療・治療から手術、集中治療およびリハビリテーションを含む入院後の治療までを担当し、“防ぎ得た外傷死(preventable trauma death)”と“防ぎ得た後遺障害(preventable disability)”の減少に地域消防機関と共に取り組んでいます。

▼対象疾患

重症・重篤なショック・外傷、重症感染症、熱傷、急性中毒、急性呼吸不全、急性腎不全、急性冠症候群(狭心症、心筋梗塞)、心不全、脳卒中(脳梗塞、脳出血、くも膜下出血)、意識障害など

▼診療実績

2007年4月開院から2010年12月の間に救命救急科が関与した症例
総数: 17,769 重症・三次: 3,783 (21.3%)
二次: 5,311 (29.9%) 初期: 6,830 (48.8%)

▼救命救急科スタッフ医師の学会認定・資格

日本救急医学会救急科専門医・指導医、日本外傷学会外傷専門医: 1名
日本救急医学会救急科専門医・指導医: 1名
日本救急医学会救急科専門医: 3名
日本整形外科学会専門医: 4名
日本麻酔科学会専門医・指導医: 1名

プチメール



小澤修太郎先生が世界の 著名人録に載りました

外科の小澤修太郎先生がMarquis Who's Who in Medicine and Healthcare (2011-2012)に掲載されることになりました。

Marquis Who's Who (マーキーズ・フーズ・フー)は米国の出版社による世界の著名人の略歴を掲載した人名録で、110年以上にわたり刊行されています。掲載者は世界各国の調査員により、各専門分野での具体的な選択基準に基づき国際規模で選出される最も権威のある紳士録とされています。

特にWho's Who in Medicine and Healthcareは最近、国際的に活躍した医療関係者を対象に隔年で選出され今回、約27,000人が世界中から選出されました。消化器がんをはじめとした臨床・研究における先生の業績が評価されて今回の掲載となりました。

小澤先生の外科外来は、「毎週水曜日午後」「土曜日午前」でそれぞれ電話予約が可能です。

「緑のカーテン」 コンクール 優秀賞受賞



環境フェスタちちぶ2011(平成23年10月15日(土)・16日(日))が開催されました。「緑のカーテン」コンクール・事業所の部において、優秀賞を受賞致しました。

当院の待合室・外来部門は、南向きで日差しが強く当たる場所です。昨年夏はこの緑のカーテンが活躍し、節電に少なからず貢献することができました。



作成者
秩父病院
総務課
田中英生

医療法人花仁会



秩父病院

〒369-1874 埼玉県秩父市和泉町20番

TEL. 0494-22-3022 (代表)

FAX. 0494-24-9633

ホームページ: <http://www.chichibu-med.jp>

Eメール: info@chichibu-med.jp

診療科目 外科・内科・消化器外科・消化器内科・肛門外科
循環器内科・麻酔科・放射線科・肝臓内科・腫瘍内科
整形外科・形成外科・歯科・人間ドック
一般健診: 随時受け付けております。

お申し込み電話番号(0494-22-3023)

受付時間 午前8:30~11:30/午後12:30~5:30

診療時間 午前9:00~12:00/午後 3:00~6:00

休診日 日曜・祝祭日

<秩父病院分院>

ははそ もり 柞の杜 クリニック

〒368-0046

埼玉県秩父市宮側町16-12

TEL. 0494-21-2352

FAX. 0494-22-6132

診療科目 外科・内科・総合診療科

受付時間 午前8:30~11:30

診療時間 午前9:00~12:00

(当午午前のみ診療)

休診日 火曜・日曜・祝祭日

